一般財団法人「くまもと未来創造基金」2026年度事業計画書

## *1．事業期間*

2026 年 6 月 1 日～2027年 5 月 31 日

## *2．事業方針*

当法人は、**地域を支えるために必要な資源の循環を作り、社会を構成するあらゆる人が地域の未来を担い合い支える仕組みを構築することによって、持続可能で豊かな地域社会の創造と発展に資することを目的としています。**

そのため、熊本県内で活動している市民活動に関わる課題や問題を集約し、解決に向けたセミナーや情報・意見交換ができる場を提供するとともに、活動団体のネットワークを構築し、市民活動をサポートします。社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みの構築、活動団体に仲介・提供するために必要な資源の確保を行います。

また、新たに創設した「くまもと次世代応援基金」」では①**次世代育成事業「Appleseed 奨学金」（熊本モンタナ高校生留学奨学金（返済義務のない給付型で支給）**県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来世界的視野を持ちグローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与すること②熊本の未来を担う子どもたちを対象として「未来」に希望を持ってもらうことを目的として事業を行います。

2021年より、モンゴルとの交流やモンゴルと女性の女性自立支援を行うことで、国を超え支え合うつながりと持続可能な経済支援を目的とした「熊本×モンゴルプロジェクト」を多様な団体と連携して開始しました。

《設立から 9 ヵ年、以下の重点取り組みを行ってきました》

○2017年度重点取り組み**【仕組みの充実と拡充】**

① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の拡充

② 熊本地震支援活動団体のサポート体制・連携

③ 助成事業の充実

○2018年度重点取り組み**【ネットワーク連携強化】**

① 連携強化による新たな資源の確保

② 地域の課題解決に向けた仕組み作り・交流サロンの充実

③ ネットワーク連携による助成事業の充実

〇2019年度事業の取り組み**【基金創設と必要な資源の確保】**

① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の確保
（1592チャレンジ・Appleseed 奨学金）

② 社会課題のニーズ・課題調査、サポート体制づくり（女性・子ども・若者）

③ 組織運営・事務局体制の強化・充実

〇2020 年度事業の取り組み**【組織基盤強化・連携による社会課題解決支援】**

①地域における社会課題を把握し、必要な資源確保、ニーズに対応し現場に寄り添った助成・団体基盤強化事業の充実

②関係団体・機関等と連携して行うことで地域の課題解決に向けて連携サポート体制を構築

〇2021 年度

② 「くまもと次世代応援基金」を創設し、Appleseed 奨学金②次世代育成事業の充実

②支援団体・連携機関と連携による災害・クライシス・社会課題解決に向けた支援体制・プラットフォームづくり

③次世代応援基金の資源確保・次世代育成事業の充実

④地域課題解決に向けた組織基盤強化

休眠活用事業：2020 年に続き採択

「支えあう多様なコミュニティづくり支援事業」助成総額 8,000 万円の事業（県内 10 団体への助成・伴走サポート）を行っています（２０２２年３月まで）

〇2022 年度

① Appleseed 奨学金―次世代育成事業の充実

②支援団体・連携機関と連携による災害・クライシス・社会課題解決に向けた支援体制・地域リーダーの育成

③地域課題解決に向けた組織基盤強化（セミナー・事務局検定の実施）

④休眠活用事業：「支えあう多様なコミュニティづくり支援事業」助成総額 8,000 万円の事業（県内 10 体への助成・伴走サポート）２０２２年３月まで

⑤「熊本・モンゴルプロジェクト」

国を超えて支え合うコミュニティづくり・女性自立支援の充実

〇2023 年度

① Appleseed 奨学金―次世代育成事業の充実

②地域課題解決に向けた組織基盤強化（セミナー・事務局検定の実施）

③「熊本・モンゴルプロジェクト」

国を超えて支え合うコミュニティづくり・女性自立支援の充実

〇2024 年度

①「地域課題解決」についての学びを深め・多様な主体と連携を図る

②次世代育成事業：子ども達を取り巻く状況について学びを深める（セミナー開催）

③「熊本・モンゴルプロジェクト」内容充実

交流ツアー・幼稚園交流・「熊本・モンゴル展」開催

〇2025 年度事業の取り組み：

① 5 年目を迎える女性自立支援「熊本・モンゴルプロジェクト」の充実に取り組みます。

② 10 人目の留学生を送り出す次世代事業「アップルシード奨学金」制度の充実と留学後のフォローアップや支援者を広げる次世代を応援するコミュニティを作る。

熊本地震復興支援から活動を始めた財団は、2026 年 3 月 30 日創立 9 年目を迎えました。
2027年財団は設立から10年目という節目を迎えます。

●2026年度事業の取り組み

①次世代育成事業の充実を図る。留学生OBOGの集まりコミュニティを作る
留学生OGによる高校生実行員会開催「高校生サミット」の支援を行う
（やってみたいを応援するチェレンジ基金）

②6年目を迎える「熊本×モンゴルプロジェクト
2期目を迎え、ウランバートル市スバートル区との「持続可能な地域間パートナーシップ」の構築を目指す・

## *3．事業計画*

**（公益活動推進事業）**

**(1) 公益活動を行う団体に仲介・提供するために、公益活動に必要な資金等の資源を募り、確保する事業**

**◆事業名：おもやいアワード2026**

【事業概要】熊本地震・コロナ感染・熊本豪雨災害によって、活発に活動始めた市民活動や災害支援活動から高まった寄付に関する県民の意識をさらに高め、今後迎える課題社会の課題解決に向けて、県民一人ひとりが自分たちで解決する仕組み作りやお金の使い方で自分たちの未来を作っていけることに気づいてもらうこと、サポートをする団体として設立した「くまもと未来創造基金」について広く知ってもらうことで、応援する賛同者を募り、共に未来を作る仲間を増やすことを目的として開催。

【内容】熊本の未来をみんなで支えよう

1．活動報告

「くまもと次世代応援基金」“子どもたちと作る熊本の未来」

Appleseed奨学金留学生報告

【実施日時】**2026年12月**

【実施場所】熊本城彩苑（オンライン開催）★コロナ感染状況で判断

【対象者】NPO・行政関係者・企業・地域金融機関・関心ある方

【参加者】30名

【参加費】無料

【賛同者目標】２0名

**(3) 公益活動を行う団体及び資源提供者に対するコンサルティング事業**

・活動団体個別相談

・熊本市市民活動紫煙センター・あいぽーと委託による「資金作り・法人運営無料相談

**◆基盤強化セミナー＊連携事業**

①助成金活用セミナー

（自主事業）＊助成団体の連携
【目的】
・団体が抱える課題の一つ「資金」について、助成金活用を希望する団体は多いが、自団体の計画に合わせて有効に活用している団体は少ない。
・助成制度について助成担当者による説明や助成金のしくみ・助成団体が助成金を出す目的などを聞くことにより、助成金への理解を深め、自団体に合った助成金申請へとつなげる。
・助成担当者の説明に加えて、熊本で実際に活動している団体の報告を聞くことで、より多くの団体が上手に助成金を活用し活動を発展させていく。
・開催に当たっては、事前に共催で開催する「助成金活用・企画書作成勉強会」と連携させる。
【日時】2025 年 8 月30日（日）
【会場】熊本市市民活動支援サポートセンター　　あいぽーと
【実施体制】主催：一般財団法人くまもと未来創造基金　　（企画・当日運営実施主体）共催：熊本市市民活動支援センターあいぽーと　　（会場・広報・集客）

【協力助成団体・機関】
・くまもとわくわく基金　　（熊本市）
・九州 ろうきん　　（九州）
・九電みらい財団　　（九州）

（４） 次世代育成事業

●「くまもと次世代応援基金」

【事業内容】
① 給付型奨学金 200 万円
（1 人分の渡航諸費用・諸費用・事務手数用）
② 次世代育成事業 20 万円
＊連携事業

目的：高校生留学プログラム参加費用相当額の奨学金を、返済義務のない給付型で支給することで、県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来グローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与すること
《2025 年度募集スケジュール》
６月初旬　　県内の高校５０校に対し募集ポスター送付。 8 月 29 日（日）　　第一回説明会
9 月 15 日（水）オンライン説明会
12 月中旬　　筆記試験
面接
【開催協力】モンタナ州政府駐日本代表事務所
公益社団法人日本国際生活体験協会（EIL）

(5) 公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業
【事業】情報発信及び広報・普及啓発
【内容】市民活動の一番にニーズである助成金情報や企業・行政からの情報等様々な情報を活動市民団体に提供するとともに、支援したい市民・県民・企業等に活動団体の情報や社会的課題について発信していきます。
【対象者】市民活動団体・個人・企業・行政等
【配信】HP
メルマガ FB 等SNS

（６）その他の事業
・「熊本×モンゴルプロジェクト」
・目的：モンゴルとの交流や女性自立支援を通して、国を超えて支え合うコミュニティを作る
・内容：
①交流：モンゴルツアー　　6 月―ASIA FOLK2025 参加・パワースポットを訪ねるツアー
2027年1月波野中学校とモンゴルの学校交流「遡源文化交流」え行っていく。
②　　女性自立支援：事業充実と連携の広がりを図る

４．理事会の開催
年 4 回開催（6 月、10 月、2 月、 5 月）　6 月－今年度事業計画・予算状況 10 月―進捗状況
２月－進捗状況・次年度事業計画
5 月―今年度事業報告・決算状況　　次年度計画・予算

５．評議員会開催

・2026 年年 5 月開催予定

ない給付型で支給することで、県内の高校生が広く海外に視野を向け、
将来グローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に
寄与すること

《2025 年度募集スケジュール》

6 月初旬　県内の高校５０校に対し募集ポスター送付。
8 月 29 日（日）　第一回説明会
9 月 15 日（水）オンライン説明会
12 月中旬　筆記試験
面接

【開催協力】モンタナ州政府駐日本代表事務所
公益社団法人日本国際生活体験協会（EIL）

**⑸ 公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業**

【事業】情報発信及び広報・普及啓発

【内容】市民活動の一番にニーズである助成金情報や企業・行政からの情報等様々な情報を活動市民団体に提供するとともに、支援したい市民・県民・企業等に活動団体の情報や社会的課題について発信していきます。

【対象者】市民活動団体・個人・企業・行政等

【配信】HP
メルマガ
FB 等SNS

（６）その他の事業

・「熊本×モンゴルプロジェクト」
・目的：モンゴルとの交流や女性自立支援を通して、国を超えて支え合うコミュニティを作る
・内容：
①交流：モンゴルツアー　6 月―ASIA FOLK2025 参加・パワースポットを訪ねるツアー
9 月―南ゴビの自然体験とオイスカモンゴルの農場センター訪問
幼稚園交流（2 回目）インターナショナルキンダーガーデンとモンゴルの幼稚園
②　女性自立支援：事業充実と連携の広がりを図る

## *4．理事会の開催*

年 4 回開催（6 月、10 月、2 月、 5 月）
6 月－今年度事業計画・予算状況
10 月―進捗状況
2 月－進捗状況・次年度事業計画
5 月―今年度事業報告・決算状況　次年度計画・予算

## *5．評議員会開催*

・2025 年年 5 月開催予定